

6. 奈良県キャリアラダーに基づく評価方法

地域診断		A1	A2	A3	A4	A5
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度単位でひとつの業務を実施することができるレベル</li> <li>・個人、家族への基本的な支援に責任をもつレベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数年単位で複数の業務の方向性を決定し、実施することができるレベル</li> <li>・集団、組織、地域への基本的な支援に責任をもつレベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数業務の展開、改善に責任をもつレベル</li> <li>・住民、関係機関と協働し、より深い支援に責任をもつレベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理的役割の補佐ができるレベル</li> <li>・施策化、システム化の提案に責任をもつレベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全庁的な管理的役割を担うレベル</li> <li>・施策化の立案、システム化に責任をもつレベル</li> </ul>
保健師の活動領域	元のラダー→ (能力を発揮して行うこと・行動レベル) ↓求められる能力	指導のもとに、地域活動レベルの健康課題を現在ある情報をもとにアセスメントし、明確化・文章化できる。	・地域活動レベルの健康課題を新たな情報や横断的・縦断的情報からアセスメントし、明確化・文章化できる。 ・基準に基づいて優先度を考えることができる。	・地域活動レベルの健康課題を地域全体の情報を統合、比較しながらアセスメントし、明確化・文章化できる。 ・基準に基づいて優先度を判断できる。	・管轄地域全体の健康課題を明確化・文章化できる。 ・基準に基づいて優先度を判断できる。 ・目標設定に向けて、どの程度、解決・改善が可能かを検討できる。	・管轄地域全体の健康課題を明確化・文章化できる。 ・地域内及び地域外との比較から格差・不平等の実態を横断的・縦断的に把握し、優先度の判断に活用できる。
地域診断	①個人・集団・地域の情報から健康課題とその背景要因を明確化する能力	1) 既存の情報を精読し、現在顕在化している健康課題を説明することができる。 2) 上記に加え、最新の情報を収集し、アセスメントとともに健康課題を記述できる。 3) 健康課題に関連する要因を図表化し、資料として提示できる。	1) 最新の情報を収集し、※横断的・縦断的にアセスメントした結果とともに健康課題を記述できる。 2) 同時に健康課題に関連する要因を図表化し、資料として提示できる。  ※横断的とは、現時点の状況をアセスメント枠組みを用いて包括的に示すこと。縦断的とは、統計やプロセスレコードを用いて、推移や経過を示すこと。	1) 上記に加え、地域全体及び特定集団の潜在的な健康課題を見出すために、アンケートやインタビュー等の調査を企画・実施・分析し、結果を資料として提示できる。	1) 上記に加え、地域全体及び特定集団の潜在的な健康課題を見出すために、アンケートやインタビュー等の調査を企画・実施・分析し、結果を資料として提示できる。	1) 上記に加え、地域全体及び特定集団の潜在的な健康課題を見出すために、アンケートやインタビュー等の調査を企画・実施・分析し、結果を資料として提示できる。
	③根拠に基づいて健康課題の優先度を判断する能力	-	1) 担当分野の事業について、影響が多数／少数でも深刻／緊急性／他との格差・公平性の観点から優先度を説明できる。	1) 所内の事業全般について、影響が多数／少数でも深刻／緊急性／他との格差・公平性の観点から優先度を説明できる。	1) 管轄地域全体の施策・システムについて、影響が多数／少数でも深刻／緊急性／他との格差・公平性の観点から優先度を説明できる。	1) 管轄地域全体の施策・システムについて、影響が多数／少数でも深刻／緊急性／他との格差・公平性の観点から優先度を説明できる。
	②健康課題を解決・改善する社会資源の量と質の課題を明確化する能力	-	-	1) 地域の健康課題を明確にできる。 2) 保健・医療・福祉・教育等の関係機関・職種との情報交換や資料より、社会資源の量と質の課題をアセスメントし記述、資料化できる。	1) 幹部・首長レベルと課題を共有できる。 2) 上記に加え、施策化・システム化、及び保健計画策定に必要な情報を抽出・分析・記述し、資料化することができる。	1) 幹部・首長レベルと課題を共有できる。 2) 上記に加え、施策化・システム化、及び保健計画策定に必要な情報を抽出・分析・記述し、資料化することができる。
	④地域の健康課題の解決に寄与する根拠に基づいた社会資源の開発・改善の優先度を判断する能力	-	-	-	1) 目標設定に向けて、どの程度、解決・改善が可能かを検討できる。 2) 計画の実現可能性や事業の効果を予測し、人員予算を考慮しながら優先順位を判断することができる。	1) 地域内及び地域外との比較から格差・不平等の実態を横断的・縦断的に把握し、優先度の判断に活用できる。 2) 計画の実現可能性や事業の効果を予測し、人員予算を考慮しながら優先順位を判断することができる。幹部・首長レベルへの説明ができる。